

あすはまだより 5月1日



みなさん、こんにちは！^{げんき}元気ですか？

さいきんは、たんぽぽがあちこちにさいて、すっかり^{はる}春ほんぼんになりましたね。



きょうは、^{かんじ}漢字のなり立ちシリーズのつづきをお話^{はなし}します。

ちゅうごく^{かんじ}中国ではつめいされ、^{よんせんねん}四千年のれきしがある漢字には、3つのものがふくまれています。

一つは、^{かたち}形です。いろいろな^{かたち}形の^{かんじ}漢字がありますね。二つ目は、^{おと}音です。たとえば「木」という^{かんじ}漢字は、「もく」と読んだり、「ぼく」と読んだりしますね。三つめは、^{いみ}意味です。^{かんじ}漢字は、ローマ字などちがって、^{かんじ}漢字じたいに^{いみ}意味があります。たとえば、「川」というと、水がながれる川をおもいうかべますね。また、「月」というと、^{よぞら}夜空にぼんやりとうかぶ月をおもいうかべますね。文字を一つ^か書いてだけで、^{いみ}意味もわかるのが^{かんじ}漢字の大きなとくちょうの一つです。

それでは、^{おほ}多くの^{かんじ}漢字は、どのようにつくられたのでしょうか。

^{かんじ}漢字が作られた方法^{ほうほう}は、大きくわけて4つあります。きょうは、このうちの二つをお話^{はなし}します。

① ^{かんたん}かんたんなものの^{かたち}形を絵にあらわし、^{せん}線がきにしたもの（^{しやうけいもじ}象形文字といえます。）

しょうけい
おもな象形文字

人 → 人

山 → 山

目 → 目

川 → 川

竹 → 竹

犬 → 犬

などがあります。もとの形かたちと、字がとてもよくにっていますね。

つぎは、漢字のなり立ちの二つ目です。

② すでにできている象形文字をくみ合わせて、新しいみをあらわしたもの(会意文字)

たとえば、森は、木がたくさん生えているところを言います。だから、漢字でも

木+木+木⇒森 (木がたくさん生えているところ)

としました。ほかにも、「休む(やすむ)」という漢字があります。これは、)

イ(人)+木⇒休(人が木にもたれて休む)

この漢字がつけられたころは、人は木にもたれて休んだのでしょう。

このように、漢字のなりたちがわかると、漢字がおもしろくかんじられますね。



さて、話はかわりますが、はまかぜきゅうのベランダにあったいちごが、今、たくさんの花をさかせています。いちごがなるのがたのしみですね。またへんかがあるごとに、いちごのようすをホームページでつたえますね。

では、また、元気ですごしてくださいね。

